

本庄早稲田・リサーチパークニュース 2014.1

本庄をモデルとしたスマートコミュニティ連携普及の動き

関東経済産業局は、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトなどの成果をモデルにした地方都市のスマートコミュニティ普及推進の取組を検討しています。推進組織である関東スマコミ連携体（仮称）には、学識経験者として小野田弘士委員長をはじめ、当財団、各行政機関、関連企業など幅広い連携によって本庄での取り組みの知見を活用し、全国的な普及を目指すこととなります。今後、新研究組織では、連携体と通じて行政などと密接に連携し会員企業の皆様へ情報提供を行います。

■本庄スマートエネルギータウンプロジェクト臨時総会開催

プロジェクトでは2014年2月10日に臨時総会を開催し、3年間の活動報告とともに、来年度以降の新体制について紹介し、会員の皆様より広くご意見を伺う機会といたします。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■個別ワーキング・グループ(WG)活動状況

今年度も様々な個別WGが開催され、実現に向けての取り組みが行われました。

①ICT情報インフラ関連WG

これまで行政の施策と連動するかたちでICT情報インフラ構築に関する提案を進めてきましたが、地元ユーザーを多く保有する本庄ケーブルテレビ（株）様の参画により、より一層、地域のニーズに根差したサービスを策定することが可能となりました。ベシヤ二期工事エリアでのスマートスタートも考慮しながら早期の実現を目指して検討を進めております。

②交通・モビリティシステムWG（本庄市副市長を迎えての意見交換）

2013年7月16日に開催されたWGでは、本庄市酒井了副市長を迎え、本庄市における交通施策について講演をいただきました。また、埼玉県からは、環境部環境政策課佐藤正太氏より、埼玉県庁における水素システムの実証試験についての紹介がありました。プロジェクトでは、今後も行政との連携を深めながら、これらの施策に協調・補完する仕組みを検討・提案する準備を行います。

③賛光精機（株）メガソーラー始動

本庄早稲田の杜周辺地域（早稲田リサーチパーク南側遊休農地）で、スマプロ一般会員の賛光精機様がメガソーラーを設置し、2013年11月よりメガソーラー事業を開始しました。スマプロ会員の成果事業としても注目が集まります。



本庄市の交通施策に関する資料

■次世代スマートタウン国内視察研修会

2013年9月17日～9月19日の日程で、次世代スマートタウン国内視察研修会を実施し、東北での次世代エネルギーへの取り組み、また、震災復興へ向けたまちづくりの状況を視察しました。

プロジェクトでは、来年度からの新体制でも被災地との連携を強化し、被災地支援事業へも積極的に取り組む予定です。



釜石市との意見交換の様子

「第18回高度技術・技能展 おおた工業フェア」に出展します

2014年2月13日(木)～15日(土)に「第18回高度技術・技能展 おおた工業フェア」に出展します。

この展示会には、次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会の会員企業の方々の取引先や販路開拓の一助として、(公財)大田区産業振興協会のご協力を得て、2012年から出展しています。今回は3回目の出展となります。会員企業の方々の紹介を中心とした内容の展示をします。

「おおた工業フェア」は毎年、東京の蒲田にある大田区産業プラザで開催され、大田区の企業に加え、全国各地の工業集積地域から企業や産業支援機関などが参加し、具体的なニーズを持った来場者も多く、内容のある展示会となっています。



2013年の展示ブース



講演会やセミナーの他、「モノづくり大受発注商談会」も併催され、会員企業の方々にも参加いただいております。

「第18回高度技術・技能展 おおた工業フェア」について、詳しくは<http://www.pio-ota.jp/k-fair/18/>をご覧ください。

地域ビジネスの創出・活性化を目指して

～本庄早稲田IOC・ビジネスプラットホーム第3回合同交流会開催～

2013年12月5日 17:00より、当財団の本庄早稲田インキュベーションオンキャンパス (IOC) ならびにレンタルオフィスの会員組織であるビジネスプラットホーム (BPF) が主催する第3回の合同交流会を本庄早稲田キャンパス内で開催しました。本交流会は、本庄早稲田IOCならびにBPFに所属するベンチャー企業や個人事業者等の情報交換と交流を促進するために定例で開催されており、毎回各専門家をお招きしてのセミナーや懇親会を実施しており参加者から好評をいただいております。



セミナー終了後の懇親会の様子



早川幸雄講師の講演

今回は、前半のセミナーでは、社会保険労務士の早川幸男氏(社会保険労務士 早川幸男事務所)を講師にお招きし、「中小企業・個人事業主・起業準備者向け～会社経営に役立つ労務管理の知識について～」ご講演をいただきました。セミナー終了後は早川先生を交えての立食による懇親会を行い、活発な入居者間の情報交換など有意義な交流会となりました。

●本庄早稲田IOC・ビジネスプラットホーム <http://www.ioc-waseda.jp/>

若手経営者・幹部のための「早稲田若手経営者ビジネススクール」 ～プログラムも終盤を迎え注目の経営者がゲスト講師として続々と登場！～

今回で第7回講義を無事に終了し、プログラムも終盤に突入しました。今回のニュースでは、第6回、7回の講義を報告いたします。

■第6回 テーマ「中小企業の事業戦略」：10月23日開催

(株)マテリアル 細貝淳一社長

下町ボブスレー実行委員長の細貝社長をお招きして、創業から現在、そしてボブスレーの取組について、ご自身の体験に基づいた経営論・戦略の立案について講義をいただきました。本講師陣の中では唯一の創業者であり、そのユニークな経営論・ビジネスの視点等、シンプルかつきわめて論理的な思考は毎回新鮮な感銘を受けます。また、下町ボブスレーに託したものづくりニッポンのへ想いや裏話など、少人数ならではの密度の濃い講義となりました。



■第7回 テーマ「中小企業の事業継承」：11月20日開催

日本電鍍金(株) 伊藤麻美社長

各地でのご講演や行政委員会でご多忙の中を早稲田キャンパスにお越しただいて講義をお聴きしました。ラジオのDJから一転、危機的な経営状態に陥った父の会社を継ぎ、短期間で優良企業に再生させた、強い経営者としての意志と生々しいリアルな経営体験は、これからの経営者にとって大変価値のある内容であったと思います。

講義詳細については、Facebookでもご紹介しております。https://www.facebook.com/honjowasedaRP



最終報告まで残すところ3回、講義・ディスカッションでは、各自の経営課題を意識した内容となり、受講生にとって有意義で他に類の無い完成度の高い講座になってまいりました。

●来期受講生募集中！

ご好評により来期受講生の募集を開始します。
定員に達し次第締め切りとなりますので、お早目にお申込み下さい。
チラシ URL <http://www.howarp.or.jp/>
問い合わせ先 担当：池田、中根 0495-24-7455

本庄早稲田塾 ～実務・専門研修を開催～

■計数感覚向上研修：9月10日（火）開催

経理担当の方など40名が参加。堀江國明税理士事務所の堀江所長を講師に、損益計算書と貸借対照表、キャッシュ体質図とキャッシュフロー分析など、決算書の構造や見方を学習し、経営に必要な財務分析の方法や倒産しないためにどのように計数感覚を磨くべきかを、熱心に学習されました。



研修の様子

■段取り力向上研修：10月15日（火）・22日（火）開催

実務担当の方など27名が参加。(株)パドスの近藤部長を講師に、段取り力の自己分析、優れた仕事のための目標の明確化と課題設定、先延ばしの癖を克服、Eメールや文書の効率的処理方法や仕事の依頼方法、そして助け合う関係づくりなどをグループ形式で意見交換し、段取り力の向上を目指しました。



グループ討議の様子

■クレーム対応研修：12月3日（火）開催

実務担当の方など38名が参加。(株)武田マネジメントシステムの武田代表取締役を講師に、様々なクレームへの対応方法、お客様の苦情への不十分な対応によって一瞬のうちに無くなった企業の実例、クレーム発生を最小限にするための事前取組み、そしてクレームを企業の業績アップにつなげるための方策などを学びました。終了後も受講者の方々は、講師と個別に相談をされていました。



研修の様子

●今後の予定 ～ぜひご活用ください～

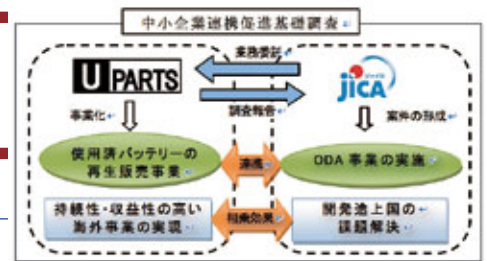
幹部候補育成研修 2月12日・13日 (二日間)

企業を背負って立つ中堅社員として果たすべき役割や責任を認識し、モチベーションやチャレンジ精神を向上させると同時に、「仕事の管理や問題解決能力の向上」、「リーダーシップと後輩育成指導」などを学びます。

会場：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 受講料：12,000円(テキスト代を含む)

詳細につきましては、当財団HPに掲載しておりますのでご覧ください。

海外展開支援事業の実施について



■独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 民間連携事業 「ペルー共和国自動車用再生バッテリー販売事業」採択

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会の会員企業 (株)ユーパーツにおける「自動車用バッテリー再生販売事業」のペルー共和国への海外展開において、当財団は (株)ユーパーツ、(株)早稲田環境研究所とともに共同企業体を形成し、2013年度JICA民間連携事業「中小企業連携促進基礎調査」に対して調査委託事業の申請を行い、この度採択されました。

この事業は開発途上国の開発課題に貢献するビジネスを実施しようとする中小企業に対して、現地での事業実施に向けた情報収集と事業計画立案を、JICAが支援するものです。(図参照)

進出先であるペルー共和国は、安定した経済成長の恩恵を受け、この10年間で新車販売数がほぼ10倍に急増。今後も安定した販売数の増加が見込まれています。しかしその一方で、リサイクル産業などの静脈産業が整っておらず、使用済み自動車用バッテリーの不適切な処理による環境汚染や工場労働者における鉛暴露が問題となっています。また、新車購入層の多くはローンやクレジットでの購入のため、維持費コスト削減が必須となっているものの、安価なバッテリーは品質面で問題が多く、高性能で安価な再生バッテリーへのニーズが高まっています。

当財団は (株)ユーパーツの海外進出を支援するとともに、ペルー共和国における静脈産業の将来的な育成に取り組むことで、今後、急成長が見込まれるチリ、コロンビア、メキシコ、ペルー等の南米市場への静脈産業の展開を視野に入れた、同分野における中小企業の海外展開を支援できる基盤を整えたいと考えています。

■中小企業の海外展開をお手伝いします。

経済のグローバル化が進む現在においては、中小企業においても様々な形で海外との取引や直接投資の機会が増えてきており、将来的な成長戦略を考える際に、海外展開は避けて通れない重要な課題の一つになりつつあります。また、日本経済の低成長が続く中、政府も中小企業の海外展開を積極的に支援するようになってきています。こうした状況に鑑みて、当財団においても海外展開をめざす中小企業に対してセミナーや研修の実施、現地調査など、様々な支援メニューを整えてきており、上記ペルー案件の他、カンボジアにおけるLPG事業の可能性調査なども実施しております。

これから来年度にかけて様々な公的機関による海外展開支援スキームの公示が予定されていますが、これらの支援スキームを活用することにより、海外進出の初期費用を抑えつつ、より実現可能性の高い事業計画を策定することが可能です。当財団は大学を基盤とする公益財団としての幅広いネットワークを強みとしています。海外展開を検討されている中小企業の方はぜひご相談ください。

彩の国ビジネスアリーナ2014に出展します



2014年1月29日から30日にかけて「さいたまスーパーアリーナ」で実施される彩の国ビジネスアリーナ2014において、当財団は早稲田大学環境総合研究センターと合同でブースを出展いたします。彩の国ビジネスアリーナは国内最大級のビジネスマッチングイベントであり、多彩な講演会や、同時開催イベントも数多く開催される予定です。入場はすべて無料となっています。詳しくは下記HPをご覧ください。
公式HP: <http://bizmatch.saitama-j.or.jp/>

EVEX2013およびスマートネットワークEXPOに出展しました



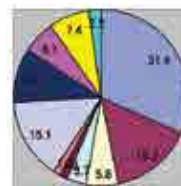
2013年 9月25日(水)から27日(金)まで東京ビッグサイトで同時開催された電気自動車開発技術展(EVEX)・エヌプラス・スマートネットワークEXPOに、早稲田大学環境総合研究センターおよび会員企業有志と合同で出展いたしました。今期出展者は261社、来場者は3日間で延35,156人を数えました。来場者の多くは製品メーカー関連で74.4%。来場目的の多くは情報収集および製品・サービスの導入であり、目標達成率は78.9%でした。

技術展では専用につけられたブース内に出演企業各社のコーナーを個別に設けて、各社の製品や事業活動成果のパネルなどを展示しました。

また、本庄早稲田周辺のジオラマ(模型)の展示とビデオ(CG画像)上映、早稲田大学電動マイクバスとその充電施設の模型、ULVの展示などを行い、事業の取り組みを紹介しました。

当日は多くの方々にご来場いただき、出展各社の事業や成果・今後の取り組みなどをアピールすることができました。

【来場者分析】



- 自動車・自動車部品
- エネルギー・エレクトロニクス
- カタログ・フィルム
- 機械・装置
- メディカル
- 材料・食品
- 航空・宇宙・造船・輸送
- その他製造
- インフラ・交通
- 建設・流通
- 輸送
- その他

【出演企業】

- 次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会
- (株)秋山製作所
- イー・ティー・イー(株)
- KYB(株)
- 東京千曲産業(株)
- ポーライト(株)

- 本庄スマートエネルギータウンプロジェクト
- NTTデータカスタマーサービス(株)
- (株)前川製作所
- (株)早稲田環境研究所
- 日本電気(株)

本庄早稲田「食の安心&安全・いちばの会」～学習会を開催～

本庄早稲田「食の安心&安全・いちばの会」では、私たちが日常よく食べている食品に関する学習会を5回に渡って開催しました。

■パン講座 ～天然酵母とパン～：8月6日（火）開催

(株)味輝の荒木社長を講師に、酵母とはどういうものか、自社培養の自然酵母を造り出すまでの製造過程、酵母の原料となる糀の持つ自然の力強さ、そしてパンの原材料となる小麦の理解を深めました。



荒木講師

■マヨネーズ講座 ～卵とマヨネーズ～：9月10日（火）開催

(株)ななくさの郷 松田マヨネーズの松田社長を講師に、マヨネーズの製造方法、使っている原材料へのこだわり、合わせて松田社長の生き様についても熱く語られ、安心安全なマヨネーズ製造に思いを込める人生観を垣間見た内容でした。



松田講師

■豆腐講座 ～国産大豆と豆腐～：10月8日（火）開催

もぎ豆腐店(株)の丸野社長を講師に、豆腐の歴史から一般的な豆腐の作り方、先代からの豆腐作りを守り続けるための材料へのこだわりなどが話されました。また、豆腐作りの器を持ち込んだ模擬実演もあり、どのように手作りしているかの理解も深めました。



模擬実演

■ソース講座 ～トマトとソース～：11月12日（火）開催

高橋ソース(株)の高橋社長を講師に、トマトの特性やトマトが持っている健康力、食品添加物をいっさい使わないオーガニックソースを作り上げた経緯などを世の中の流れとたぶらせながら話されました。



高橋講師

■味噌・醤油講座 ～麹菌と味噌醤油～：12月10日（火）開催

ヤマキ醸造(株)の新妻工場長を講師に、古代中国から始まる醤油の食文化の歴史、大豆などに種麹を混ぜて造る麹菌、そして地域により異なる様々な種類の醤油と味噌などについて理解を深めました。



新妻講師

●今後の予定 ～ぜひご活用ください～

・「パン講座その2～米と麦について～」 開催日：1月14日（火）

・「お米講座～世界のお米の食べ比べ～」 開催日：2月18日（火）

詳細につきましては、当財団HPに掲載しておりますのでご覧ください。

農林水産省事業

～第1回健康アグリツーリズム体験ツアーを開催～

2013年11月3日（日）に開催した第1回健康アグリツーリズム体験ツアーでは、東京方面より貸切バスで20名の方々にご参加をいただき、楽しい一日となりました。

午前最初のイベントは、もぎ豆腐店(株)にて“寄せ豆腐作り”にチャレンジ。温めた豆乳の中に、にがりを入れ、即かき回し。かき回し方で各人の豆腐の硬さが変わっていたのには皆さん驚きでした。

続いて、(株)味輝の石窯で焼いた特製ピザなど、昼食を取りながらの“ベジブロス入門講座”。講師はタカコ・ナカムラWholeFoodスクールの方で、普段は捨てている野菜の部分を使って煮出すホールフードで、野菜栄養分の全てをいただく野菜パワーを理解しました。

午後からは、早稲田大学の農場での“お米の脱穀体験”。NPO法人 早稲田環境市民ネットワークのアグリエクササイズに参加している地元の方々の指導で、今では目にすることもない足踏み脱穀機で古代米（赤米）を汗をかきかき脱穀しました。どなたも初体験だったようです。サプライズとして古代米の持ち帰り、それと薪とお釜で炊いた古代米のおにぎりが振る舞われました。

最後のイベントは“本庄まつり見学”。夕闇迫る本庄市内旧中山道宿場町沿いには絢爛豪華な10基の山車が集結し、子ども太鼓と笛の音とともに、昔にタイムスリップしたような面持ちになりました。

●第2回健康アグリツーリズム体験ツアーの予定～

開催日は、3月1日（土）を予定しております。

詳細が決まりましたら、当財団HP等でお知らせいたします。



寄せ豆腐作り



ベジブロス講座



お米の脱穀体験

里山塾 ～新潟県南魚沼市清水地区の見学と自然薯掘り～

エクスカージョン（遠足）：新潟県南魚沼市清水地区

9月21日（土）

今年の里山塾のエクスカージョン（遠足）は、2013年9月21日（土）に新潟県南魚沼市清水地区へ行きました。これまで講師をお願いしていました高野孝子さんが主宰しているエコプラスの活動拠点でもあります。清水地区で取り組まれている生物多様性の見学やブナ林の間伐体験をしました。

生物多様性の見学場所では、クロサンショウウオの幼生やハッチョウトンボなど希少な昆虫や植物の生息を学ぶことができました。

清水地区の活動を目で見て肌で感じる事ができた1日でした。



「里山の恵み3（自然薯掘り）」：大久保山

11月16日（土）

また、2013年11月16日（土）は大久保山で「里山の恵み3（自然薯掘り）」を行いました。掘り上げるのに苦労する自然薯掘りですが、大変さゆえに達成感もひとしおです。その後、すりおろしたものを食してみても、お餅のようなコシと粘りに驚きました。参加者からは、「宝物を掘り出すワクワクドキドキ感を体験できてよかった」などの感想をいただくことができました。



親子で体験 サイエンス教室の開催

科学の楽しさを親子で体験する『本庄早稲田の杜 冬休み親子スーパーサイエンス教室』を2013年12月25日（水）早稲田大学本庄高等学院で開催しました。

今回は、「ホバークラフトを作ろう」と「望遠鏡を作ろう」の2テーマを午前と午後行いました。冬休みの初日にもかかわらず、156組の児童と保護者の参加がありました。



午後の「ホバークラフトを作ろう」では、CDとペットボトル、風船などを使用して、風船の力で浮くホバークラフト作りに挑戦しました。完成したホバークラフトでレースを行い速さも競いました。

参加者には、素敵なクリスマスの思い出になったことと思います。

聞いて、学ぼう！旭環境学習会の開催

2013年12月13日（金）本庄市立旭小学校で『旭環境学習会』を開催しました。ゲスト講師からの情報をもとに、児童が調べたい環境問題のテーマに迫って、考えを深めるとともに自らできる事を学ぶ総合的な学習です。

5年生児童が5つのテーマ（生態系、地球温暖化、放射性物質、森林伐採・砂漠化、自然災害）に分かれ、ゲスト講師に様々な質問を投げかけていました。生態系の班からは「なぜ、人間は絶滅しないのですか？」など、大人でも一度はじっくり聴いてみたい答えに耳を傾けていました。

埼玉県環境科学国際センター、本庄市役所危機管理課、森林インストラクター神座侃大氏、早稲田大学友成真一教授・友成研究室の皆様、ご協力ありがとうございました。



国際理解学習授業 本庄西小学校訪問

2013年11月13日（水）早稲田大学大学院国際情報通信研究科の留学生3名と共に本庄市立本庄西小学校を訪問し、6年生86名を対象に国際理解学習の授業を行いました。児童は、留学生の母国、バングラデシュ、中国、そしてインドネシアのお話を聞いて、日本との文化や生活の違いに驚いていました。

また、留学生から出されたクイズに積極的に手をあげて答えていました。



後半は、3班に分かれて留学生の手品や各国のゲームを楽しみました。手品のタネがわかった児童には、留学生から折り紙のプレゼントがありました。

また、インドネシアのゲームでは、留学生も参加して、児童達と楽しみながら交流を深めることができました。

閉会式では、児童達から歌の披露があり、留学生にとっても思い深い訪問となりました。

平成25年度次世代産業カレッジを実施しました



平成25年度次世代産業カレッジが今年度も実施され、好評のうち閉講いたしました。この講座は埼玉県が経営マインドを持った技術者を育成するために実施している事業で、県内11の理工系大学が支援機関としてカリキュラムを提供しています。早稲田大学からは新エネルギー分野で、理工学術院の横島時彦主任研究員／准教授を講師にお迎えし、入門編として「二次電池の現状と将来展望」、応用編として「リチウムイオン二次電池の最新動向と要素技術」と題した二つの講座を提供しました。

二つの講座を合わせた述べ参加者は54名を数え、特にリチウムイオン電池をテーマとした2回目の講座は会場がほぼ一杯となり、この分野に関する受講者の関心の高さをうかがわせました。



本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員募集のご案内！

本庄早稲田駅前で、ビジネス拠点をお探しの起業家・企業の皆様へ！

当財団では、手軽に利用出来るレンタルオフィス（本庄早稲田ビジネスプラットフォーム）を運営しています。ぜひ、ご利用をご検討下さい。

- ・会費 10,000円/月（税別）※6ヶ月前払い
- ・駐車場利用可（1台分）



◆「本庄早稲田ビジネスプラットフォーム」とは

シェアードブース（仕切り8席）と共有スペースは、起業準備中の方や、個人事業主、中小零細企業、本庄地域でビジネス拠点をお探しの方等に、お手頃価格で貴社のオフィスが即日から開設できます。

また、JR上越新幹線本庄早稲田駅前、早稲田大学本庄キャンパス内に立地し、24時間365日対応の警備体制により、セキュリティ対策も万全です。

◆基本サービスメニュー

ビジネス拠点としての住所、郵便物・宅配便の受領、FAX受信、来客受付、駐車場、オープンスペース、会議室（8名定員・18名定員）、シェアードブース（机・椅子）、ロッカー、メールボックス、有線・無線LANでのインターネット接続、モノクロプリンターの利用。

◆会員限定企画への参加

年に3、4回、施設内にて、起業や経営に必要な知識習得や地域企業間の交流を深める事を目的とした、ビジネスセミナーとネットワーキングパーティを行っています。

※お部屋の見学も可能ですので、どうぞお気軽にお問合せ下さい。

●お問い合わせ・お申込先

本庄早稲田ビジネスプラットフォーム担当：温井

TEL: 0495-24-7455

E-mail: info@ioc-waseda.jp <http://www.ioc-waseda.jp/>



公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465

<http://www.howarp.or.jp/>